

STEP（社会的信頼システム創生センター）
「信頼データベース構築と分析」チーム
第1回研究会

「信頼研究におけるベイズ推定を適用した
共分散構造分析の利用」

日時 2010年8月30日(月) 13:00～17:00

場所 関西大学リサーチアトリエ 楽歳天三
(天神橋筋3丁目商店街 地下鉄堺筋線「扇町」・JR環状線「天満」)

講師 紺田広明氏 (社会的信頼システム創生センターRA)

【概要】

共分散構造分析は、計量社会学においてもっともポピュラーな分析手法の一つとなっているが、時系列分析的要素を取り入れるなどモデル構成も先進的に展開しており、また推定方法もベイズ推定を適用するなど、K. G. Joreskog や P. Bentler の開発当初のモデルから変貌を遂げつつあります。

共分散構造分析は、信頼生成要因の分析手法としても、もっとも有力な手法であり、すでに信頼研究での利用実績も多くみられます。第1回の研究会では、この共分散構造分析について、若手の有望研究者である紺田さんに基礎・現在のモデルの展開・ベイズ推定法の適用とその解釈などについて解説・紹介いただきます。さらに、信頼データをつかってAMOSによる分析の実践を学び、分析結果について共同での検討を行います。今回は「信頼データベース構築と分析」チーム主催の研究会ではありますが、チームに限定したものではありませんので、皆様の積極的な参加をおまちしています。

当日の用意：

当日は、SPSSのAMOSを利用して分析の実際を学び、分析結果の検討を行いますので、SPSS、AMOSをインストールしてあるノートPCをご用意ください。ノートPCの持ち込みが難しいなどの先生方は、前もってご連絡ください。

どなたでも参加できます。